

『よどふあるの友』は、淀協・ファルマHPH委員会と西淀川・淀川健康友の会が共に取り組むHPH活動について、様々な情報を発信したり、活動を報告するニュースです。名前は、淀協、ファルマプラン、健康友の会の名前と健康友の会の発行する『健康の友』にあやかりました。

●HPHポスターの紹介

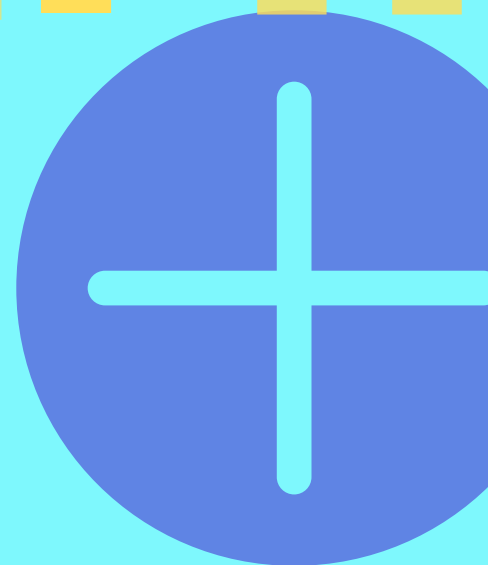
「HPH活動が職員の喫煙率や喫煙防止の意識に及ぼす効果」について、福島先生、今村医局課長（現FCなごみ事務長）を共同研究者とし、西淀病院全職種を対象にし、禁煙のHPH活動（禁煙教室、22日のすわんすわん、小中学校の喫煙防止教室、職員の禁煙外来支援など）を行い、2019年12月（介入前）と2021年4月（介入後）でKTSND（社会的ニコチン依存度）を比較検討しました。

結論としては、職員の喫煙率は低下しているが、KTSNDスコアはHPH活動を行う前後で変化は認められませんでした。

職員の禁煙行動が進むにはどのようなアプローチが効果的なのか、探っていきたいと思っています。

（野口愛）

HPH



●喫煙防止教室の動画紹介

各院所の皆さん禁煙教室の動画を作ってみました。

ぜひ、診療所の待合室や禁煙外来を希望されるような患者さま、健診の待合室などにもご活用ください。

（千北診療所 野口愛）

「何のための、誰のための、誰と一緒に、 誰が参加する活動にするか！」

J-HPHネットワーク第7回

スプリングセミナーワークショップ

講師 南齋規介氏

国立研究開発法人国立環境研究所
資源循環領域国際資源持続研修室 室長

気候危機とヘルスサービス

日本HPHネットワーク第7回スプリングセミナーのワークショップ（2022年3月5日）「気候危機とヘルスサービスの対応」について学びました。正直に言って、医療機関に何ができるのか？悩みながらの参加でした。

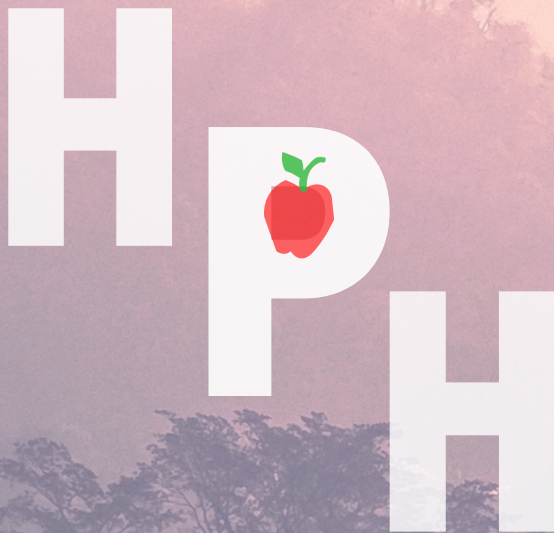
用語も初めて聞くことが多く、例えば、「カーボンニュートラル」とは、二酸化炭素の放出と吸収が相殺されている状態……。また、「カーボンフットプリント」とは、個人活動や商品のライフサイクル全般で排出された温室効果ガスを二酸化炭素排出量に換算したものの……。などなど。初心者マークをつけての参加でした。

講演と報告を受けた後にグループに分かれて討論をおこないました。どこの医療機関ともCO2削減の具体的な実践をおこなっている状況ではなく、これからというのが現在の到達のようです。

お互いどんなことができるか話し合いました。そして、結果としてみんなで確認されたことは、疾病の予防をしていくことそのものが、脱炭化につながる。重症化して医療を施すことではなく、かかりやすい病院として入院よりも外来で、そして「安心して住み続けられるまちづくりをすすめていく取り組みが、CO2の削減につながっていることに確信を持つことができました。この分野でもHPHの取り組みの出番です。



西淀病院 前田元也



ファルマプラン あおぞら薬局の取り組み

困難を抱えた患者さんの支援に繋がったり、服薬指導や食事指導により健康を維持してもらうことを目的とした『気になる患者に対する取り組み』。社会的に孤立しやすい高齢者単独世帯に電話をかけ、近況や困り事をお伺いする『お元気ですかコールの取り組み』をスプリングセミナーで報告。

毎月22日はスワンスワンの日

13:00~13:15

土日・祝日の場合は、次の平日に実施します。

※参加人数と拾った吸い殻の数を
ファックスにてお知らせください！

発行：〒555-0024
大阪市西淀川区野里3-5-22
淀協・ファルマHPH委員会
TEL (06)6471-0496(代表)



日本HPHネットワーク
Japan Network of Health Promoting
Hospitals & Health Services